

**進路指導って？ キャリア教育って？**

中学校での「進路指導」というと、「高校進学に向けた受験指導」と考えがちです。もちろん、本校でもほぼ全員が上級学校に進学していますので、「進学・受験指導」も必要不可欠です。しかし、第1号でも述べたように、本校における「進路指導」では、中学生が「自分らしい将来の生き方」を考え、その夢の実現に向けて「今何をすべきか」を考える『キャリア教育』を根幹に学習を行っています。

『キャリア教育』では、理想とする生き方の実現のためには「どんな大人になりたいか」「どんな仕事ができるのか」を考え、そのために「何を学ぶ必要があるのか」を考えます。仕事によっては、学校で学ぶのではなく、熟練の技術習得のためにできるだけ早くから「見習い」「弟子入り」「修行」「就職」が必要な場合もあります。つまり、「何を学ぶか」は、上級学校での学びもあれば、そうでない学びもあり、理想とする人生設計が人それぞれであるように、卒業後の進路選択も人それぞれなのです。

サッカー界のレジェンドと言われ、50歳を過ぎた今でも現役として活躍している三浦知良さんは、15歳で単身ブラジルに渡る選択をし、夢を現実のものにしたことは皆さんも良く知っていることでしょう。ジブリ映画「耳をすませば」に登場する天沢聖司という男子中学生はバイオリン職人になるためにイタリアに行く決心をしています。また、日本の文化・芸術を支えている職人さんたちの中には、中学卒業後から工芸や古典芸能の技を磨き、匠の技を習得した方々もたくさんいらっしゃいます。「サッカーが好き」「音楽が好き」「ものづくりに興味がある」そこから「キャリアプランニング」をして、現在の活躍につながっているのです。

とはいえ、プロとして成功し、生計を立てられる人は一握りです。好きなことが仕事としてできて、しかも高収入がもらえることはなかなか難しいでしょう。生徒の皆さんはどうかこの1年間、自分の特性を知り、将来の展望を意識するよう努めてください。その上で、高校進学を希望するか否かを考えてほしいものです。

キャリアパスポート スタート！ 年度当初のワークシートを配付しました！裏面を参照！

これまで進路学習は、それぞれの学年・学校ごとに生徒の実態に応じて行ってきました。ただ、この学習は、単発的なものに終わっていたり、進学先の選択といった狭い範囲にとどまっていたりすることが課題となっていました。その反省を生かし3年前からキャリア学習を系統的に指導する取組として『キャリア・パスポート』が実施されています。キャリア教育に関する学習活動を小学校から高校まで記録・蓄積し、それを学年・学校の壁を越えて活用していくことや様々な大人との対話的な関わりからキャリア発達につなげることを目指します。この学習で大切なのは、学んだことを「振り返りをする」「見通しを持つ」を繰り返すことです。これは、ページに押された外国のスタンプを見れば、これまでの旅の記録がわかる「パスポート」のイメージです。

学習内容は、学校教育はもちろん、家庭や地域における学びを含む活動とし、以下の3つの視点で振り返り、見通しが持てる内容にすることが求められています。

- ①教科学習(9教科および道徳、教科横断的な総合的な学習の時間)
- ②教科外学習(学級活動・学校行事・生徒会活動・部活動等)
- ③学校外の活動(職場体験やボランティア等の体験活動、地域行事参加、家庭での取組等)

生徒の皆さんには、①教科で課題解決学習や話し合い活動、②学校行事で作文や振り返りを考えてもらいました。その都度教員が朱書きコメントを入れるなど、対話的な学習はこれまでも行ってきました。「キャリア・パスポート」では、本人の活動に、教員だけでなく保護者からの対話的な取組を追加し、より生徒の成長を促す効果を期待しています。定期テスト後の「あゆみ」でご家庭からコメントをいただいておりますが、それと同様にこれからの課題内容についても、ご家庭で話題にさせていただき、温かい言葉掛けをくださると幸いです。そして上記③「学校外の活動」において、お子様の背中を押してくださるようお願いいたします。

書いた日を書いてください。
提出物です。記名を忘れずに！

記入日 _____ 年 ____ 月 ____ 日

_____ 番 氏名 _____

1年間のスタート

○今の自分を見つめて

今の自分（自分の好きなこと・もの、

- ①左欄は、希望する職業（職種）を記入する。
- ②右欄は、「学力」、「資格」、「学校」、「気持ち」等、日頃から考えていることや調べたことを記入する。
- ③希望職種が不確定な人は、今時点のものを複数書いても良い。
- ④希望職種が書けない人は、「～ができる人」等の記載も可。
保護者の方（祖父母、親戚または働いている兄姉でもOK）に今の仕事の魅力・やりがいを聞き、左欄にその職業名、右欄に保護者等に聞いたり、自分でその仕事を調べて「つけたい力」を記入しても良い。

※保護者の皆様は、これを機にお子様とお話ししてください。

提出日は**4月18日（火）**です。
保護者の方に「あなたへのメッセージ」を最後に書いてもらい、提出です。

○なりたい自分になるために身につけたいこと（目標）と、そのために取り組みたいこと

学習面の目標	そのために
部活動の	この「キャリア・パスポート」は、 進路学習で行った内容を高校3年まで引き継ぐようになります。
生活面の	もちろんこのプリントも高等学校に送られることになるので、 具体的に、細かく書くよう（ 3行以上 ）にしてください。
家庭・地域での目標	そのために

キャリアパスポートでは、「**学校外の活動**」も重要視されます。**ボランティア活動**や**職場体験**（保護者職場や公募等での仕事体験）を積極的に取組める人が求められます。**家のお手伝い以外の目標**が立てられると良いですね。

「キャリア・パスポート」のねらいとして、

- ①校種間を超えて、生徒のキャリア発達を支援する
- ②学校だけでなく、保護者や地域が生徒のキャリア発達に積極的・対話的に関わる

とあります。

保護者の方のコメントをお願いすることがあります。ご協力をお願いします。

家庭より ⇒

お子様が書いた「1年間のスタート」を見て、「将来について」「仕事について」「上級学校について」等、お子様とお話をしてくださいと幸いです。その上で、お子様へ2行程度メッセージをお書きください。

